

# 議会だより

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>

第3回臨時会開催 令和3年4月21日～23日

## 藤原町政の“肉付け予算”を可決

令和3年一般会計予算は88億5200万円に



臨時会最終日に報告する佐藤委員長

町長が改選されたことに伴い、当初予算が義務的経費（骨格予算）と政策的経費（肉付け予算）の2度にわたって編成され、その肉付け予算が議会で提案されました。

4月21日から23日までの3日間の会期中で議会臨時会が招集され、予算決算常任委員会で集中審議の結果、議案は全て全会一致で可決となりました。

### 予算の質疑応答

**質問**……………  
今回の補正予算で、町長の五つの公約をどれくらい反映できたのか。  
(高橋清美議員)

**答**……………  
大規模事業が計画されてきた中、通学路の緊急整備、統合される川俣小学校の新制服の購入補助、中央公民館改修に伴う図書室の拡充などで自分の「やさしいまちづくり」の意向が入れられたと考えます。また、町の振興計画を策定する予算も挙げていますが、自分の公約を反映させていく考えです。(町長)

**質問**……………  
火葬場は改修なのか、新築なのか。町長の方針は。  
(佐藤喜三郎議員)

**答**……………  
全面改築できるか、財源、時間などをよく検討してご提案します。  
(町長)

**質問**……………  
①中学生のプロگرام教育のロボットは県産なのか。  
②振興計画の策定根拠、方針は。

③SDGs事業の中心は。  
④イノベーションコースト構想の中心は。  
⑤古閑裕而PR事業後の見通しは。  
(菅野清一議員)

**答**……………  
①町内企業が製造するロボットです。  
(教育次長)

②まちづくりの最上位の計画として調査・分析等を事業者に委託し町が主体となって策定します。  
③体験型イベントなどについて検討します。  
④近大、立命館大と協議し検討します。  
(企画財政課長)

⑤関係人口を増やし地域経済の振興を目指します。  
(産業課長)

## 企画財政課

### 振興計画策定事業

最上位計画である次期振興計画を策定するための経費

855万円

### SDGs イベント開催

SDGs (持続可能な開発目標) について学ぶ講演等の実施

76万円



▲ 12年間のまちづくりの指針となる復興計画

### 委員会意見

- (1) 振興計画策定については、策定過程が重要である。住民や町づくり団体等とよく連携し、諸課題の解決とまちづくりの発展を目指すこと。
- (2) 境町との交流連携事業については、両町のまちづくりが相互発展できるよう、住民団体等とよく連携して取り組むこと。
- (3) SDGs 啓発推進事業は、親子などが対象であるが、学校教育や商工業者など、全町を挙げた取組になるよう、庁内連携して実施すること。
- (4) 子育て世代の定住施策が重要である。繰り返し委員会で意見している現状を踏まえ、住宅支援など大胆な政策を打ち出すこと。

## 総務課

### 地震被災住宅の修理補助

福島県沖地震に係る住宅修理への補助  
※修理金額20万円以上が対象

620万円

地震で被害を受けた民家 ▶



### 委員会意見

- (1) 福島県沖地震の被災住宅修理支援事業は、県の補助事業であるので、対象にならない一部損壊についても、町単独で支援できないか検討すること。

## 原子力災害対策課

### 仮置き場の返還工事費

除染廃棄物保管のため借りていた土地を原状回復して返還するための工事費

6億1480万円

原状回復方法を協議中の仮置場  
(袋は処理方法を検討中の遮へい土のう) ▶



### 委員会意見

- (1) 令和3年度における仮置場の返還は、全22カ所のうち7カ所が予定され、今後3年をかけて全ての箇所を実施していくとのことであるが、残りの箇所についても、速やかに返還できるよう、鋭意、交渉していくこと。

# 予算決算常任委員会報告

## 町民税務課

### 火葬場整備

火葬場整備基本構想の策定費、測量費など。

390万円

▶ 新町長のもと整備方針を再検討中の火葬場 ▶



### 委員会意見

- (1) 火葬場整備事業については、本年度に整備基本計画の策定に向け、住民説明会等が予定されているが、新町長の施策方針を速やかに明らかにし、議会とよく連携のうえ協議を進めること。

## 保健福祉課

### 新型コロナウイルス対策

ワクチン接種に係るバス運行、基礎疾患のある高齢者向けPCR検査費用など。

322万円

### 災害見舞金の増額

住宅等に被害を受けた方への見舞金を増額するための費用

64万円



▲ 開始されたワクチン接種（イメージ）

### 委員会意見

- (1) 新型コロナウイルス感染症に対応するための各種事業は、本年度の最大の課題であり、重点事業であるので、町民に対する丁寧な説明と支援に努めること。

## 産業課

### ライスセンター整備

J A・山木屋支所用地内に、ライスセンター（粗飼料）を建築

2億8559万円

### イノベーションコースト構想事業

近畿大学、立命館大学と連携して実施する連携事業

300万円



▲ ライスセンターの完成イメージ

### 委員会意見

- (1) イノベーションコースト構想推進事業は、近畿大学、立命館大学との連携事業であるが、町長公約である新産業の創出に向け、計画的に取り組み、具現化を図ること。
- (2) 古閑裕而ゆかりの地かわまたPR事業は、「エール」により生まれた交流から「関係人口」への発展が期待されるので、古閑裕而にゆかりを持つ自治体との連携・発展も考慮し、実施すること。
- (3) 水稻生産流通拠点施設整備事業は、農業復興の重点事業であるので、営農再開、新規就農につないでいけるよう、よく関係機関、住民と連携のうえ進めること。

## 建設水道課

### 通学路の改修整備

川俣小・中学校通学路になる町道の側溝整備・カラー舗装など ▶

4793万円

### 住宅屋根改修への補助

住宅屋根を台風等災害に強くするための工事への費用助成

552万円



▲ 通学路の安全確保が図られます

### 委員会意見

- (1) 緊急対策事業として挙げられた学校通学路である町道の維持補修については、浸水などの状況も考慮し、安全が確保されるよう努めること。
- (2) 町道改良については、改良が長期にわたっている箇所があるので、財源の確保と早期実施に努めること。また、路線箇所の選択と集中により、工期短縮についても検討すること。

## 学校教育課

### 小学校再編に係る制服購入助成など

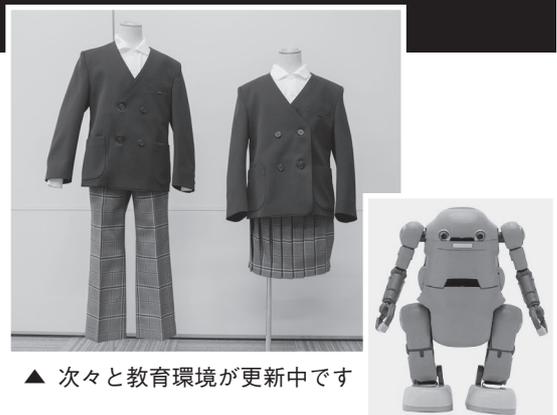
新小学校の制服購入に対する助成、小学校体育館改修費など ▶

4597万円

### コンピューター教育費

小学校へのICT支援員の配置、  
中学校でのロボットプログラム教育費用など

784万円 ▶



▲ 次々と教育環境が更新中です

### 委員会意見

- (1) 学校統廃合に向け、標準服の支給や閉校記念品等の経費が予算化された。コンピューターや英語教育、SDGsなどの新たな課題に、丁寧に対応されているが、引き続き、保護者等の不安と期待に寄り添い、教育環境の充実発展に努めること。

## 子育て支援課

### 認定こども園の開設準備

令和5年に開設する幼保連携施設の設計費用など ▶

3310万円

南小学校を改修する認定こども園のイメージ ▶



### 委員会意見

- (1) 認定こども園の開設に向け、幼稚園、保育園関係者、社会福祉協議会等、関係機関とよく連携して進めること。また、道路や駐車場等、安全な周辺環境の整備についても、併せて検討のうえ、実施すること。

# 予算決算常任委員会報告

## 生涯学習課

### 中央公民館の耐震改修

中央公民館の耐震化・エレベーター設置等の工事費と仮設の研修室等を設置する費用など

6億5463万円

### 町史別冊「川俣と平成（仮称）」の編纂準備

町史の新たな冊子を編纂できるように、有識者等による会議を開催する経費等

61万円



▲ 新たな資料の編さんに入る町史

## 委員会意見

特になし

### まとめ

令和3年2月に執行された町長選挙の結果を受け、新町長の方針を受けた政策的経費を中心とした一般会計補正予算等（肉付け予算）が提案された。山木屋地区のライスセンター整備事業や、小学校再編整備認定こども園開設、中央公民館の耐震化などの大規模事業が継承され、一定の方向性が示された。火葬場の整備については、今後住民説明会等が予定されているので、速やかな方針の提示と説明を求める。

一方、震災から10年が経過したが、山木屋地区では、いまだ住民の帰還が進まず、営農再開者の少ない中、住民サービスが切り捨てられるような事態も懸念されるので、被災自治体として関係機関と連携のうえ、復興事業の継続的な実施を強く望む。

人口減少、定住化対策の計画が示され、本年度から次期振興計画の策定に着手されるので、住民、関係機関、議会とよく連携・協議のうえ、課題解決と将来展望が示されることを期待する。

以上の点について意見し、令和3年度川俣町一般会計補正予算（第1号）及び令和3年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）以上2件は可決すべきものとする。

なお、予算の説明においては、各課統一の様式により、説明事項に過不足のないよう注意して臨むこと。

令和3年4月23日

予算決算常任委員会

委員長 佐藤 喜三郎

## 令和3年第3回臨時会審議結果（令和3年4月21日～23日）

議案	件名	審議結果
第39号	川俣小学校プール改築工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第40号	専決処分の報告及びその承認について（専決第3号補正予算（第12号））	承認（全会一致）
第41号	専決処分の報告及びその承認について（専決第4号補正予算（第5号））	承認（全会一致）
第42号	専決処分の報告及びその承認について（専決第5号特別会計補正予算（第5号））	承認（全会一致）
第43号	専決処分の報告及びその承認について（専決第6号補正予算（第4号））	承認（全会一致）
第44号	専決処分の報告及びその承認について（専決第7号特別会計補正予算）	承認（全会一致）
第45号	令和3年度川俣町一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第46号	令和3年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第47号	川俣町飯坂財産区管理委員会委員の選任について	同意（全会一致）

# 全員協議会 レポート



## 国が原発処理水の処分方針を説明

福島第一原発で発生し続けている汚染水の処理方法について、国から議会に説明があり、議員からは次のような意見が出されました。

### 【国の出席者】 ※敬称略

- 原子力災害現地対策本部 副本部長 由良英雄
- 廃炉・汚染水・処理水対策現地事務所 参事官 木野正登

### 【東京電力の出席者】

- 執行役員・廃炉推進カンパニーシニアバイスプレジデント 坂井毅志
- 福島復興本社 代表付部長 石崎年博
- 福島第一廃炉推進カンパニー リスクコミュニケーター 斎藤幹雄

### 国・東京電力の説明

- ALPS（アルプス）という機器でほとんどの放射性物質は取り除けるが、トリチウムだけは今の技術では除去できない。
- しかし、処理水は、飲み水に比較しても十分に線量は少なく、海外でも実績がある「海洋放出」を、さらに十分に海水で薄めてから行うことで、影響は最小限に抑えられる。
- 風評被害対策を十分に講じる。また、販路の拡大などを支援する。被害が生じた場合は、誠意を持って被害額を賠償する。

### 議員の意見

- 町の賠償請求がまだ13億円も支払われておらず、中間指針の見直しも行われていない中、信用できない。
- 漁業者の努力を踏みにじる許されない行為だ。海洋放出すれば漁業の継承ができない。お金で解決できる問題ではない。

### 【そのほかの町説明事項】

- 認定こども園基本設計…令和4年5月から着工し、令和5年1月完成、4月開園の予定
- 移住・定住促進事業……国の復興交付金を活用して、最大200万円の移住支援金を活用するなどして、5年間で200人の人口増を目指す。